

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－41

学校名・団体名	神戸市立真野小学校
HPアドレス	http://www2.kobe-c.ed.jp/man-es/
コース	学校支援
活動・研究の テーマ	和太鼓でつなげよう ～人・心・まち～

〈活動・研究の意義目的〉

東日本大震災で被災した仙台市立東六郷小学校と一昨年から交流を行っている。昨年度は、1月17日に6年生児童4名を本校にお招きし、「1.17 希望の灯り」「震災祈念集会」に参加していただいた。また、3月11日には、インターネットを利用し、東日本大震災祈念集会に全校生が参加した。

本年11月2日には、本校6年生児童4名が、東六郷小学校を訪れ、両校の和太鼓演奏を披露し合うなど、交流を深めた。

また、12月11日には、本校で開かれた 神戸発「生きる力を育み、未来へつなぐ」防災教育研究大会で、東六郷小学校6年生と合同で防災教育の授業を行った。その東六郷小学校は、津波被害のために六郷中学校の教室を借りて授業を行っているが、平成28年度で閉校となり、平成29年度からは隣接校に合併されることになっている。

今後も、神戸と仙台の両校の子供たちがお互いの町を訪れ、絆を深めると共に、子供たちへの励ましの機会としたい。

本校においても、和太鼓を演奏する子供たちの元気な姿を通して、感謝の気持ちを表すと共に、高齢化する地域の方々に元気を届けたい。

「和太鼓でつなげよう ～人・心・まち～」

1. 活動内容

- (1) 対象者 5年生(22名)、6年生(26名) 計48名
- (2) 教科 音楽・総合的な学習の時間など
- (3) ねらい

- 日本と地域の伝統文化を学び、自分が住んでいる地域を愛し、誇りをもつことができる。
- 東日本大震災で被災した小学校と交流することで、夢と元気と希望を与えることができる。
- 自分の命を守り、共に生きる心を育てることができる。

2. 活動の実際

【1学期】

校区にある和太鼓練習場「フータンホール」を借り、「長田の宮神撫太鼓研究会」の方に和太鼓の演奏の仕方を教えていただいて3年目を迎えた。

8月の盆踊りでは、「真野音頭」のリズムに合わせ、子供たちは和太鼓をたたき、その姿を一目見ようと保護者の方、地域の方などがたくさんの人が集まり、最後には多くの方が真野音頭を踊る姿が見られた。

一方、仙台市立東六郷小学校との交流も3年目を迎えた。本年3月11日には、インターネットを利用し、東日本大震災祈念集會に全校生が参加し、5年生同士の交流を深めた。

◎4月～ インターネット(スカイプ)を使って、真野小学校と仙台市立東六郷小学校6年生同士が学校や地域の紹介を行ったり、学習発表を行ったりした。

○4月19日(日)「ふれあい花祭り」昨年度末から引き継いできた和太鼓を披露した。

○5月～ フータンホールで和太鼓の練習を月2回程度行った。

○7月12日(日)「七夕祭り」地域の企業「三ツ星ベルト」主催の七夕祭りで「真野太鼓」「合心」を演奏するとともに、屋台で販売するなどの募金活動も行う。

○8月13日(木)「盆踊り」地域行事の盆踊りで「真野太鼓」を演奏。

【2学期】

「真野太鼓」は、地域とのつながりから東日本へのつながりへと活動を広げている。本年度も、本校6年生児童が、石巻市や仙台市に行き、仙台市立東六郷小学校も訪問した。

仙台市立東六郷小学校では、津波から逃れ校舎2階で1日過ごした6年生はじめ、全校生が元気いっぱい出迎えてくれた。また「しあわせ運べるように」を合唱し音楽交流をした。その後、たこ焼きを作って食べながら交流を深めた。その東六郷小学校は、津波被害のために六郷中学校の教室を借りているが、平成28年度で閉校となり、平成29年度からは隣接校に吸収合併されることになっている。

◎9月～ 両校6年生は、12月開催の「防災教育研究大会」で行う公開授業に向け、インターネットを使って、防災教育の授業を合同で進めた。

○11月1日(日)～3日(火) 真野小学校6年生4名が仙台市、石巻市を訪問。仙台市立東六郷小学校で交流を深めた。本校は「真野太鼓」「合心」を、東六郷小学校は「黒潮太鼓」を演奏した。

○12月11日(金) 神戸発「生きる力を育み、未来へつなぐ」防災教育研究大会・全国から参加された800名近い学校関係者の方々に、防災教育の合同授業を公開した。また、和太鼓の演奏を披露することができた。

【3学期】

○1月17日(日) 震災祈念集會に、東六郷小学校がビデオメッセージで参加。

○1月～ 5年生への引継ぎを行い、2月のもちつき大会に向けて、練習を始める。

○2月14日(日) ふれあい寒もちつき大会

3. 成果

和太鼓を演奏する子供たちの元気な姿を通して、地域に恩返しをするとともに、高齢化する地域の皆様に元気を届けることができた。また、和太鼓を通して子供たちは成長していくことができた。さらにプロの演奏者(溝端健太)に教わるというホンモノとの出会いも子供たちに大きな影響を与えてくれた。また、自分たちの演奏で地域が元気になっていった。このような経験は人生の宝物になると思われる。

特に、東日本大震災の被災地、仙台市立東六郷小学校と、「人と人」「心と心」「まちとまち」が、子供たちの交流で太くつながったように感じる。

